

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2020年8月25日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

学生活動支援機構長
富田 宏治
(学生活動支援機構)

1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略(テーマ名)	統轄部署
1 学士課程教育	(8) 正課外教育の推進	学生活動支援機構
内容		
<p>新たな時代に求められている資質のうち、自律的に行動する力など汎用的能力や態度・価値については、正課教育だけでなく、正課以外の大学の多様な活動・環境(課外活動や社会体験、寮生活、異文化交流など)によって涵養されることが研究によって明らかになってきている。学士課程の目的であるDPに基づく学修成果の修得に加え、一段高いコンピテンシー(社会で活躍する能力)を付加的に獲得するこうした活動・環境を「正課外教育」として位置付け、大学教育の全体像を正課教育と正課外教育の統合という新しい文脈で捉え直す。</p> <p>その第一歩として、本大学のスポーツ活動(体育会、応援団総部)と文化・芸術活動(文化総部、新聞総部、宗教総部、総部放送局)について、「学生の自主活動」を尊重しつつ、「大学の責任に基づく教育プログラム」へと発展させ、以下の(1)(2)を実現する。</p> <p>(1) クラブ活動自体のプログラム化 クラブ活動において、自ら目標を掲げて指導者や仲間とともに努力を重ね、練達する過程において、チームワークやリーダーシップ、問題発見・解決能力等の汎用的能力を獲得する、教育的価値の高いプログラムとして再構築する。</p> <p>(2) クラブ関連教養プログラムの開設 クラブ活動に関する教養(当該スポーツ・文化の歴史、哲学、社会学、心理学、マネジメント等)、キャリア形成支援、ボランティア・地域貢献、国際交流支援等のプログラムの開設を、既存の教育分野と調整しながら検討する。</p> <p>上記の項目を推進するにあたり、喫緊の課題であるスポーツ活動から取り組み始める。統括する部署「スポーツ振興・統括課」を新たに設け、必要な人員体制を整備して、まず以下の基礎条件を確立する。</p> <p>(1) 安全性・健全性の確保 学生部員の安全を守り、心身ともに健康を保つ。また、学生の指導について、大学として基本方針を定め、指導者の体制を整備し、指導方法(コーチング)の向上に取り組む。また、会計を含めた運営を透明化する。</p> <p>(2) 学業優先の原則確立 競技者である前に学生として学業(正課)を優先する“Student-Athlete”であるという原則を確立する。その際、学業成績に基づく練習・試合の出場制限をルール化するとともに、チューター制等による学修支援を強化する。</p> <p>(3) スポーツ選抜入試と入学前教育 スポーツ選抜入試およびその合格者の入学前教育によって、受入段階で基礎学力をより厳密に担保する。</p> <p>上記の実績を見ながら、順次、文化系活動、寮生活、ボランティア、さらには多様なサークル活動等の教育プログラムへの発展について検討する。</p> <p>【フェーズⅠの Total Review】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツ局(KGAD) 設立を2022年度(フェーズⅡ)から2021年度に前倒しし、大学としての責任管理体制を構築することで、達成できた。 ・Academic Eligibility for KG athletes や修学支援プログラムを導入したことにより、学生の学業とスポーツ活動との両立を促進できた。 ・競技スポーツ局の設立を先行させたが、今後は、スポーツ以外の文化系クラブを正課外教育プログラム化する方策の検討が必要。 <p>【フェーズⅡに向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KGAD 加盟団体への財政支援と、強化指定クラブ制度との重複の検討(前者は大学、後者は法人という切り分けを想定) ・KGAD 参加クラブの諸活動の状況や成果を学内外に提供するコミュニケーションツールの検討 ・e スポーツ部創設の可能性検討 		

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2020年8月25日

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学生活動支援機構長 富田 宏治 (学生活動支援機構)
-----------------------	----------------------------------

指標 1

指標	内容					
指標名	体育会、文化総部、新聞総部、宗教総部、総部放送局、応援団総部に所属する学生(以下、スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生)の汎用的能力(リーダーシップ、チームワーク力、自律性)の獲得状況					
定義・算式	「大学 IR コンソーシアム在学調査」で検証している汎用的能力獲得状況のうち3項目(リーダーシップの能力、他の人と協力して物事を遂行する能力、時間を効果的に利用する能力) (算式) 上記3項目で「大きく増えた」「増えた」と答えた者の割合の平均値について、上級生時マイナス1年生時の値(1年生→上級生の増加ポイント)を指標とし、全学生平均と体育会所属学生、その他総部所属学生とで比較する。					
現状値 (指標設定時)	N/A (各団体に所属する学生情報が整理され次第数値を設定)					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	(現在値を確認した上で設定)		(現在値を確認した上で設定)		(現在値を確認した上で設定)	
実績値	2019年度	N/A	2022年度	N/A	2025年度	N/A
	2020年度	N/A	2023年度	N/A	2026年度	N/A
	2021年度	N/A	2024年度	N/A	2027年度	N/A

指標 2

指標	内容					
指標名	スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生の学業成績					
定義・算式	① 体育会、応援団総部およびその他4総部所属学生数のうち、体育会出場資格基準2および3(卒業に5年超を要するペースで単位を修得している)に抵触する学生の割合 ② (①の内数)体育会、応援団総部およびその他4総部の全所属学生数のうち、体育会出場資格基準3(卒業に6年超を要するペースで単位を修得している)に抵触する学生の割合					
現状値 (指標設定時)	① 体育会、応援団総部: 5.7% その他4総部: 4.9% ※全学生で6年以上在籍しているのは3.7%(2017年春学期終了時) ② 体育会、応援団総部: 2.9% その他4総部: 2.9% ※全学生で7年以上在籍しているのは1.4%(2017年春学期終了時)					
目標値	フェーズ1終了時(2021年度)		フェーズ2終了時(2024年度)		フェーズ3終了時(2027年度)	
	① 体育会、応援団総部5.2%(その他4総部はフェーズ2終了時より実施) ② 体育会、応援団総部2.5%(その他4総部はフェーズ2終了時より実施)		① 体育会、応援団総部、その他4総部ともに4.6% ② 体育会、応援団総部、その他4総部ともに1.5%		① 体育会、応援団総部、その他4総部ともに4.0% ② 体育会、応援団総部、その他4総部ともに1.0%	
実績値	2019年度	①1.78%②0.82%	2022年度		2025年度	
	2020年度		2023年度		2026年度	
	2021年度		2024年度		2027年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2020年8月25日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

学生活動支援機構長
富田 宏治
(学生活動支援機構)

指標 3

指標	内容					
指標名	スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生の就職状況					
定義・算式	有名 400 社比率 (体育会とその他 5 総部) 就職 (400 社) ÷ 就職 ※就職者のうち、400 社に就職した人の割合					
現状値 (指標設定時)	体育会、応援団総部: 49.6%、その他 4 総部: 22.0% (2016 年度 2017 年 3 月卒業生)					
目標値	フェーズ 1 終了時 (2021 年度)		フェーズ 2 終了時 (2024 年度)		フェーズ 3 終了時 (2027 年度)	
	①体育会、応援団総部: 現在値同水準 ②その他 4 総部: 25.0 %		①体育会、応援団総部: 現在値同水準 ②その他 4 総部: 30.0%		①体育会、応援団総部: 現在値同水準 ②その他 4 総部: 35.0% (全学値と同じ)	
実績値	2019 年度	①41.3%②17.2%	2022 年度		2025 年度	
	2020 年度		2023 年度		2026 年度	
	2021 年度		2024 年度		2027 年度	

指標 4

指標	内容					
指標名	スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生の内定先の満足度					
定義・算式	内定先の満足度 (就職決定時のアンケート) の設問に対して「大変満足」「大体満足」「あまり満足していない」「全く満足していない」の 4 段階評価のうち「大変満足」と回答した比率 (体育会とその他 5 総部)					
現状値 (指標設定時)	体育会: 51.5%、その他 5 総部: 43.2% (2016 年度 2017 年 3 月卒業生)					
目標値	フェーズ 1 終了時 (2021 年度)		フェーズ 2 終了時 (2024 年度)		フェーズ 3 終了時 (2027 年度)	
	①体育会、応援団総部: 52.0% ②その他 4 総部: 44.0%		①体育会、応援団総部: 54.0% ②その他 4 総部: 46.0%		①体育会、応援団総部: 56.0% ②その他 4 総部: 48.0%	
実績値	2019 年度	①52.7%②53.8%	2022 年度		2025 年度	
	2020 年度		2023 年度		2026 年度	
	2021 年度		2024 年度		2027 年度	

指標 5

指標	内容					
指標名	スポーツ、文化・芸術の課外クラブに所属する学生の活動成績・実績					
定義・算式	関西学院後援会表彰を受けるクラブ(団体)、所属員(個人)の数					
現状値 (指標設定時)	体育会、応援団総部: 全国制覇 団体: 2 団体 個人: 5 名、関西制覇 団体: 10 団体 個人: 44 名 その他 4 総部: 全国制覇 団体: 1 団体 (2017 年度)					
目標値	フェーズ 1 終了時 (2021 年度)		フェーズ 2 終了時 (2024 年度)		フェーズ 3 終了時 (2027 年度)	
	①体育会、応援団総部: 現在値同水準 ②その他 4 総部: 現在値同水準		①体育会、応援団総部: 現在値同水準 ②その他 4 総部: 現在値同水準		①体育会、応援団総部: 現在値同水準 ②その他 4 総部: 現在値同水準	
実績値	2019 年度	①全国制覇 団体: 2 団体、個人: 5 名 関西制覇 団体: 3 団体、個人: 31 名 ②全国制覇 団体: 1 団体	2022 年度		2025 年度	
	2020 年度		2023 年度		2026 年度	
	2021 年度		2024 年度		2027 年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2020年8月25日

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学生活動支援機構長 富田 宏治 (学生活動支援機構)
-----------------------	----------------------------------

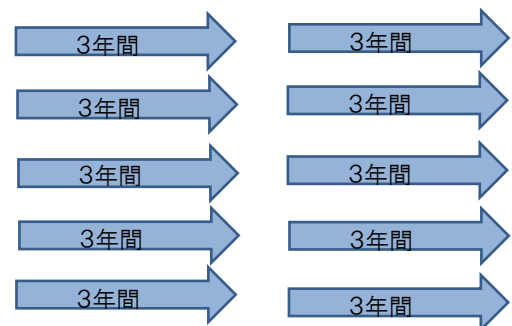
2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署	学部・研究科での 取組み有/無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	スポーツ振興・統括課の設置および正課外教育のプログラム化(スポーツ)	学生活動支援機構	必要なし	3年間			3年間			3年間		
②	正課外教育のプログラム化(スポーツ以外)	学生活動支援機構	必要なし				3年間			3年間		
③			必要の有無を選択ください。									
④			必要の有無を選択ください。									
⑤			必要の有無を選択ください。									
⑥			必要の有無を選択ください。									
⑦			必要の有無を選択ください。									
⑧			必要の有無を選択ください。									
⑨			必要の有無を選択ください。									
⑩			必要の有無を選択ください。									
【備考欄】												

※想定される実施計画の例示

- ①. スポーツ活動を統括する部署「スポーツ振興・統括課」を学生活動支援機構の下に設置
- ②. 基本方針に基づく具体的な施策の立案
- ③.
- ④.
- ⑤.
- ⑥.
- ⑦.
- ⑧.
- ⑨.
- ⑩.

※ロードマップ策定作業用記号



I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2020年8月25日

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学生活動支援機構長 富田 宏治 (学生活動支援機構)
-----------------------	----------------------------------

3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計 (2019年度～2027年度)

◆フェーズⅠ：2019年度～2021年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2019年度	2020年度	2021年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅡ：2022年度～2024年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2022年度	2023年度	2024年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅢ：2025年度～2027年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2025年度	2026年度	2027年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「正課外教育の推進」

提出日 2020年8月25日

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	学生活動支援機構長 富田 宏治 (学生活動支援機構)
-----------------------	----------------------------------

4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性
2019年度	2019年度はスポーツ振興・統括課を新たに設けた。また、体育会との合意により、Academic Eligibility for KG athletesを導入した。これにより、指標2については、良好な水準となった。今後は、学生スポーツ活動を統括する競技スポーツ局を設立し、正課外教育の土台を創出する。
2020年度	
2021年度	
2022年度	
2023年度	
2024年度	
2025年度	
2027年度	